

平成 25 年度

政策要望書

公明党神奈川県議会議員団

平成 24 年 10 月 26 日

神奈川県知事

黒岩 祐治 殿

公明党神奈川県議会議員団

団長 鈴木 ひでし

平成 25 年度 政策要望にあたって

3 年前、劇的な政権交代を果たした民主党だが、非力さばかりが目立ち、いまや内閣支持率は 1 割台となってしまいました。長引くデフレの克服もままならず、被災地の復興も遅々として進まない状況に、国民の苛立ちは募るばかりです。

しかし、厳しい状況にあるのは国ばかりではありません。わが神奈川県を振り返れば、この先 2 年間で 1,600 億円もの財源不足が想定され、緊急財政対策本部の調査会から出されたセンセーショナルな発表に、多くの県民や自治体から不安の声が寄せられています。

今、県政の舵取りを誤れば、国政の二の舞になることは明らかです。私たちは、来年度に向けてスタートを切るにあたり、県民の声に真摯に耳を傾けることから始めなければ、政治への不信を振り払うことはできないと考えました。

今回の政策要望の特徴は、すべて県民（事業者、団体等）や市町村から聴取した要望で構成されていることです。寄せられた要望の中から、県への要望事項として同意できたものを、可能な限り要望元のニュアンスを生かしつつ整理、記載いたしました。逆に言えば、日頃から私どもとして力を入れている政策（ロボット産業振興策など）でも、聴取した要望の中に出てこなかったものは、敢えて打ち出ませんでした。これは、自分たちが日頃力説していることと、県民・市町村の切実な訴えが、どこまで一致しているのかを検証する作業でもありました。

要望件数 183（他に道路など土木インフラに係る要望 83 件）。大上段に構えたものは、ほとんどありません。厳しい状況は承知の上で、それでもこれだけという県民や市町村のギリギリの願いが詰まった要望と言っても良いでしょう。実現に向け、ぜひ真摯なご検討をお願いいたします。

要望事項一覧 () 内はテーマごとの要望件数です。

1. 災害対策について(21)
2. 行財政問題について(5)
3. 市町村財政について(7)
4. 犯罪抑止対策、犯罪被害者対策について(4)
5. 幼児教育について(1)
6. 消費者問題への対応について(5)
7. 都市農業の振興について(1)
8. 地球温暖化対策及びエネルギー政策について(4)
9. 水源及び森林・河川環境の保全について(4)
10. 緑地保全について(3)
11. 有害鳥獣等への対策について(5)
12. 廃棄物対策について(5)
13. 医師・看護師不足対策について(6)
14. 助産師の活用について(3)
15. 歯科に係る諸課題について(3)
16. 疾病の予防・管理について(14)
17. 医療費助成等について(1)
18. 地域医療の支援について(3)
19. 障害者・高齢者支援施策について(19)
20. 生活困窮者対策について(2)
21. 保育の充実について(9)
22. 学童保育について(5)
23. 海水浴場の課題について(1)
24. 地域経済の活性化について(5)
25. 事業税について(2)
26. 自動車諸税の改革について(2)
27. 特別支援教育の課題について(7)
28. 教員等の配置について(7)
29. 文化財の保存・調査等について(1)
30. 学校教育について(2)
31. まちづくりについて(12)
32. 公共事業・公契約について(11)
33. 地域公共交通について(3)
34. 県内市町村の土木関連事業について(83) <別綴じ>